

# メディカルスタッフ

小倉記念病院 検査技師部 工学課

伊藤朋晃

北海道医療センター 看護部

平川歩未

## はじめに

CVIT2023のメディカルスタッフプログラムは、10名の委員(表1)により12のシンポジウム、12の教育セッションの起案、企画内容の具体化、座長・演者の人選(シンポジウムの一つは公募)を行った。あわせて一般演題は看護師、放射線技師、臨床工学技士、臨床検査技師、理学療法士、薬剤師、栄養士という幅広い職種から285題の登録を頂いている。

## シンポジウム企画概要

シンポジウムの企画は、どの職種でも聴講がしやすいようにテーマ設定を行った。学会テーマの、インターベンションにおける持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)であることから、それぞれの企画には、継続して発展させるために今までを振り返るテーマと、これからの模索するテーマ、近年のTOPICSを含めて大きく3つに分類した。以下にシンポジウムのテーマ、企画概要を紹介する。

### 1. CT First時代～心臓CT画像から得られる情報を共有し治療に活かそう～

心臓CT検査は、形態診断だけでなく機能的診断、質的診断も行えるようになりその需要は増加しており、比較的簡便に検査が行えるため、「CT First時代」が到来している。心臓CTの診かた撮りかたをはじめ、石灰化スコア、石灰化病変の攻略法、冠動脈プラークの性状評価にフォーカスをあて、心臓CTの現在と活かし方について議論を行う。

### 2. CT-guided PCIの可能性を考える

本邦では、IVUS、OCTをはじめとする血管内Imagingは、諸外国と比べて高いPenetration Rateを維持している。あわせてNon-invasive 検査であるCTは、我が国の保有台数が世界と比べて高い状況にある。その中で、CTから得られる定量的情報(血管サイズなど)をPCIに最大限活かすべく、血管内イメージングと対比させることで、心臓CTの定量的・定性的評価の現状について議論を行う。

### 3. One Teamで考えるタスクシフト／シェア

医師の働き方改革に伴い、カテ室でもタスクシフト／シェアが推進されている。それにより各職種への業務の拡大や移行、職種の垣根を超えて、カテ室内の

表1 CVIT2023 Medical staffプログラム委員

伊藤 朋晃	小倉記念病院	CE	福岡
今井 俊輔	岐阜ハートセンター	RT	岐阜
橘高 大介	昭和大学藤が丘病院	RT	神奈川
谷岡 怜	神戸大学医学部附属病院	CE	兵庫
對馬 真貴子	青森県立中央病院	NS	青森
平川 歩未	北海道医療センター	NS	北海道
松村 光章	Cardiovascular Research Foundation	RT	米国
村澤 孝秀	東京医科大学八王子医療センター	CE	東京
望月 純二	みなみ野循環器病院	RT	東京
湯面 真吾	山口県済生会山口総合病院	NS	山口